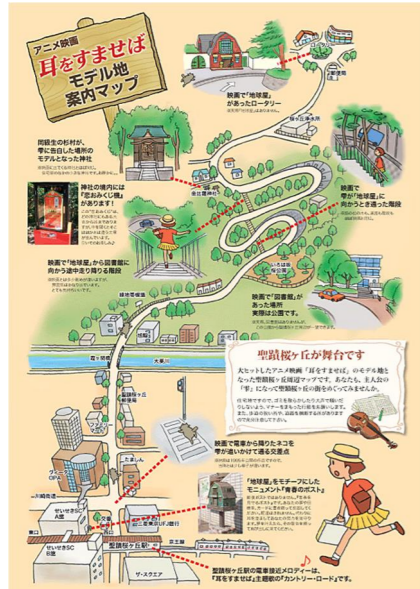


スタジオジブリ映画「耳をすませば」のロケ地を散歩♪



株式会社 鈴木住研
TEL 042-424-1449 FAX 042-424-1446
E-mail info@suzukijyuuken.com
ホームページ <http://www.suzukijyuuken.com/>

建築用語【オイルステイン】木材の下地を見せる塗装で素地の表面に塗膜をつくらずに着色剤を吸収させる方法である。



読書が大好きな中学1年生の少女、月島雫(つきしましずく)。雫は愛読書の図書貸し出しカードに天沢聖司(あまさわせいじ)という名が度々あることに気がつき、知らない彼への思いをめぐらす。そんなある日、電車の車内で出会った猫に導かれ、地球屋という不思議な店に迷い込む…恋や進路に悩んで胸がキュンキュンな映画です☆この映画の街並みなどは京王線沿線の聖蹟桜ヶ丘駅周辺をモチーフとしていることで有名です。是非映画を観て頂いてからの散歩はいかがでしょうか♪

駅の階段



電車から降りて、階段を駆け下りてくる雫。エスカレーターができて階段が狭くなったけどほぼ同じ！

団地・給水塔



雫たち月島一家が住む団地。左手の白い給水塔に注目！

いろは坂(図書館へ)



図書館に向かって雫が下りてくるシーン。これが夏ならシंकロしたはず！家もちゃんとあります！

地球屋のあるロータリー



ロータリーに聖司の祖父である西老人の営む「地球屋」がある設定。実際は…ロータリーがあるが店はない(笑)

神社・告白シーン



杉村が雫に告白したのは、この神社。金比羅宮という神社です！

ラストシーン・秘密の場所



聖司が一大決心を雫に告げる場所。感動的なシーン。この場所のモデルもあるのを探してみよう！



聖蹟桜ヶ丘には当社が施工をさせて頂いている紅矢さんがありました。ハンバーグとステーキが安くてとっても美味しいお店です♪聖蹟桜ヶ丘駅高架下の工事に伴い閉店してしまいました…ので、ちょっとと電車で乗って京王八王子駅へ…紅矢さんが駅ビルの11階にあります！散歩後のランチにどうでしょうか？

風邪とインフルエンザ

風邪とインフルエンザの違いもよく理解して早めの対策をしましょう。予防を徹底するのがもちろん一番ですが、インフルエンザは抗ウイルス薬が効きにくいタイプのインフルエンザウイルスが見つかったり、5年前に「新型インフルエンザ」として流行したH1N1型のウイルスが多いようなので気を付けてください。

インフルエンザの症状

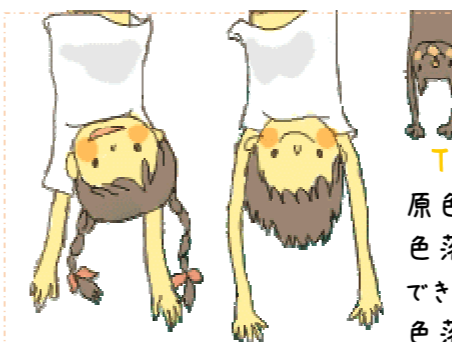
潜伏期間→1~3日
感染経路→主に飛沫感染 ※飛沫感染とは、くしゃみや咳などで唾液や鼻水が小さな水滴となって飛び散ること。
発症→急激に38℃以上の高熱が出る
症状→悪寒、頭痛、関節痛、倦怠感などの全身症状、咳、痰、呼吸困難、腹痛、下痢などの胃腸症状など
治療期間→1週間程度

風邪とインフルエンザの違い

- 咳の多くは、発症後の経過がゆるやかで、発熱も軽度であり、くしゃみやのどの痛み、鼻水・鼻づまりなどの症状が主にみられます。
- インフルエンザは高熱を伴って急激に発症し、全身倦怠感、食欲不振などの「全身症状」が強く現れます。関節痛、筋肉痛、頭痛も現れます。また、インフルエンザは、肺炎や脳炎(インフルエンザ脳炎)などを合併して重症化することがあります。
- 急な高熱** 風邪の場合、じわじわ熱が高くなりますが、インフルエンザの場合“急に”38度を超える高熱に犯されます。
- 全身の症状** 風邪の時よりも顕著に“全身の症状”、痛み、だるさ、筋肉痛が現れます。
- 呼吸器系の症状は少ない** 咳やくしゃみ、鼻水などの呼吸器系の症状は、風邪に比べて現れにくいです。

日常でできる予防

うがい手洗い、マスク、50~60%の保湿、睡眠をとる、規則正しい食習慣、一定の生活リズム



暮らしを楽しく

Tシャツの色落ちを予防する裏技

原色の木綿のTシャツなどは、色落ちが気になるものです。色落ちが気になる木綿を洗うときは塩を使うと、色落ちを予防できます。洗剤と同量の塩を洗濯機に入れて洗濯するだけで、色落ちが防げます。

靴下の嫌な臭いを取る裏技

洗濯や漂白をしてもとれない靴下の嫌な臭いは、酢水につけてみましょう。水1リットルに対し大さじ1の酢を入れ、2~3時間浸します。すると臭いを解消してくれます。

洗濯時にストッキングの伝線を防ぐ

ストッキングを洗濯するときは、靴下の中に入れて洗濯すれば、伝線しません。干すときは、洗濯バサミにバンソウコウを貼ってストッキングを挟みます。バンソウコウのガーゼ部分で挟むようにします。干す時はつま先部分にビー球を入れてみましょう。風であおられて絡んだりすることが防げます。



季節のお手入れ

・暖房器具の準備・すきま風の防止・断熱材の活用などを行って、来る冬に備えましょう。

